

【平成 26 年 04 月 01 日から総合診療科にて小腸閉塞の治療を受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

癒着性小腸閉塞におけるイレウス管の有効性の検証

- *1:癒着性小腸閉塞とは小腸の一部が狭くなり、小腸の動きが低下することで、腸管内容物が腸管内に停滞する病気です
- *2:イレウス管とは腸管の閉塞部より口側に溜まった内容物やガスを体外へ排出することにより、腸管内の減圧を図るためのチューブのことで、内視鏡で挿入することが多いです。

【研究背景・目的】

イレウス管は日本をはじめアジアで広く行われている治療方法ですが、その有効性を検証した報告は少ないです。イレウス管が有効であることを証明することで、早期にイレウス管を使用し避けられる可能性のある手術を回避できる可能性があります。

この研究は、白河厚生総合病院を主管施設として飯塚病院と共同で行う研究です。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 30 年 04 月 01 日から平成 33 年 12 月 31 日
- ・対象：平成 26 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 30 日までに総合診療科へ入院され治療を受けた患者さん
- ・取得情報：
年齢、性別、ADL、来院時間、肝疾患・CKD・DM・膠原病・心疾患・腸閉塞の既往・開腹手術・潰瘍性疾患・脳血管障害・慢性肺疾患・担癌患者・認知症の合併、来院時・入院 48 時間後の症状、バイタル、身体診察、血液検査、食事開始日、食事開始時の食事の種類、手術の有無、入院日数

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

<飯塚病院>

研究責任者：飯塚病院 総合診療科 八木悠

<主管研究施設における研究組織>

- ・ 主管施設名：白河厚生総合病院
- ・ 研究責任者：白河厚生総合病院 総合診療科 高田 俊彦
- ・ 白河厚生総合病院のホームページ：<http://www.shirakawa-kosei.jp/>

【問い合わせ先】

飯塚病院 総合診療科 八木悠

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）